

令和3年2月1日

当院における新型コロナウイルス感染者の発生について（第11報）

当院における新型コロナウイルス感染に関してご報告させていただきます。

令和3年1月20日（水）、病棟での陽性者の確認に端を発し、接触者調査及び濃厚接触者の症状観察を実施しております。

1月31日（日）、新たに入院患者さま2名の陽性が判明しました。（いずれも一度は陰性が確認されていたものの、再検査により陽性が判明）

昨日までの当院クラスター関連の感染者数は、入院患者さま42名、退院患者さま4名、看護師18名、看護助手5名、社会福祉士1名、委託清掃員2名の合計72名です。

三重県と鈴鹿保健所の指導のもと、ゾーニング・消毒等の処置、全入院患者さま及び全職員の徹底した症状観察を実施するとともに、状態に変化を認めた際にはPCR検査を実施し、感染拡大の防止に全力で取り組んでおります。

なお、クラスターとしての対象者の特定は完了しましたが、一度は陰性が確認された方が後日、症状が現れ陽性となる場合等がありますので、引き続き症状観察を徹底するとともに、感染状況等に変化ございましたら、ご報告させていただきます。

当院の診療体制については一刻も早く感染拡大を抑え込むため、病院機能を大幅に縮小し、病院内における人の移動を可能な限り制限させていただきます。

つきましては、感染拡大が沈静化するまでの間、以下のとおりとさせていただきます。

（前回と変更はありません）

外 来： 急を要し、当院での診療が不可欠な方のみ制限

入 院： 原則、新規入院の停止

手 術： 緊急を要す手術のみ制限

救 急： 原則、受入れ停止

面会他： 入院患者の面会、病院実習および不要不急の訪問等は原則禁止

現在、近隣医療機関、関係機関等のご協力のもと、患者さま及び職員の安全確保、感染拡大防止及び早期終息を最優先に対応させていただいております。皆様にはご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

以上

鈴鹿中央総合病院
院長 森 拓也